

令和4年度 大学院実践者養成コース 公衆衛生看護学実習Ⅱ「健康教育」の紹介

本学では、令和4年度から大学院実践者養成コース（公衆衛生看護学）で保健師教育を行っています。地域住民が健康で安心して暮らせるように、大学院で研究力と高度な公衆衛生看護実践力を身につけます。

この実習では、個人・家族・集団・地域を対象に、健康課題に応じた公衆衛生看護活動の展開に必要な基本的能力を養うことを目指して、家庭訪問や健康教育を行っています。健康教育では、対象者のニーズや理解度にあわせた媒体の作成や健康教育の実施に向けて思考を巡らしながら、集団支援について学んでいます。



令和4年度は、「高血圧予防」をテーマに健康教育を行いました。風船で、高血圧状態が長く続いたことで血管の壁が薄くなり、張りつめた状態の血管を再現しました。



大学院生は、実際に、住民を対象に健康教育を実施することで、対象者の反応を見ながら臨機応変に対応することの重要性を実感しました。

（大学院実践者養成コース 公衆衛生看護学：植原千明，辻よしみ，佐々木純子，藤村保志花）